

にっぽん丸 別府・瀬戸内海クルーズ

2020.12 池田良穂

日本籍のクルーズ客船の運航再開の嬉しいニュースが飛び込んできて、学会の望年会を船上で実施することにして希望者を募ったところ、15名のお申し込みがありました。12月25日神戸発の3泊4日の「別府・瀬戸内海クルーズ」で、GO TO トラベルも適用されてお買い得なクルーズでした。出発間際になって新型コロナウイルスの感染が急拡大して、GO TO トラベルも12月28日からは中止となりましたが、このクルーズは28日朝に神戸に戻るスケジュールだったためぎりぎりセーフで割引も受けられました。3名のキャンセルがあり、本学会からの参加者は12名となりました。

第4突堤のポートターミナルからの出港で、受付はホールに設けられており、デッキごとにお買得なクルーズでした。出発間際になって新型コロナウイルスの感染が急拡大して、GO TO トラベルも12月28日からは中止となりましたが、このクルーズは28日朝に神戸に戻るスケジュールだったためぎりぎりセーフで割引も受けられました。3名のキャンセルがあり、本学会からの参加者は12名となりました。

第4突堤のポートターミナルからの出港で、受付はホールに設けられており、デッキごとにお買得なクルーズでした。出発間際になって新型コロナウイルスの感染が急拡大して、GO TO トラベルも12月28日からは中止となりましたが、このクルーズは28日朝に神戸に戻るスケジュールだったためぎりぎりセーフで割引も受けられました。3名のキャンセルがあり、本学会からの参加者は12名となりました。

夕闇迫る17時に「にっぽん丸」は出港。その直前に避難訓練がありました。この日の夕食はクリスマスディナーで、にっぽん丸らしい美味しい夕食が提供され、参加者も大満足のようでした。

食事の後のショーはホールでの落語でした。最上階の展望ラウンジ「ホライズン」にバーが新設され、夜間でもカーテンをせずに夜景や行き交う船を眺めながらお酒も楽しめるようになり最高です。22時半からの夜食も毎晩ちがったメニューで楽しみました。

2日目の朝に別府に入港しました。港には、フェリーさんふらわあの大坂航路船「さんふらわああいぼり」が停泊しており、その北側の新しい客船バースに着岸しました。ここでは、小松島からの宇和島運輸の2隻のカーフェリーの入港時間をチェックし、その撮影の合間に、フェリーさんふらわあのターミナルビルの中の「別府航路の展示スペース」を見学したり、北浜温泉に浸かったりして別府を楽しみました。

この日の夕食は、大阪商船の「あるぜんちな丸」の食事を再現したという特別食で、有料で人数も限定した「シェフズ・テーブル」という企画がありましたが、希望者多数ということで抽選に漏れてしまいました。参加できた学会員から、特別メニューをいただき、内容も聞かせていただきました。料理は同じですが、調理法の説明や、料理に合うワインが提供されたそうです。

「にっぽん丸」は、夜の10時に別府港を出港しました。7~8ノットでゆっくりと走って夜明け頃に、松山沖の中島付近を航行していました。さて、来島海峡を通るのか、三原瀬戸を通るのか、展望ラウンジでは、航路についての予測がされていました。「来島海峡の通過時間がすでに通報されている」との情報もありましたが、朝の8時前に、ブリッジから「三原瀬戸を通過する」とのアナウンスがありました。途中、瀬戸内海の軍艦島との異名をもつ契島の近くまで行き、三原の今治造船広島工場では建造中のエバーグリーンの大型コンテナ船が3隻も並んで艀装中でした。瀬戸内海汽船の「シースピカ」の姿が見られたり、因島大橋の袂では「航海の安全を祈願」して旗を打ち振る一団に出迎えられ、「にっぽん丸」も旗を掲げて、汽笛を鳴らしたりとにぎやかな航海になりました。この日は、一日、昼の瀬戸

内海の航海を満喫し、夜は播磨灘の中をゆっくりと航海。

最終日の6時半に明石海峡大橋を通過して神戸には、9時に到着しました。この航海は新型コロナウイルス対策を行った結果、定員の約半分の乗客に制限し、250名余りの集客を目指したものの、事前のキャンセルもあり実際の乗客は170名余りだったとのこと。クルーズ運航会社にとっては厳しい経営環境が続いています。



ソーシャルディスタンスを十分にとった神戸港ポートターミナルの待合室。



17時に神戸港ポートターミナルを出港しました。



神戸港をでる頃には、すっかり日も沈み、光を灯した井本商運の小型コンテナ船と出会いました。



レストランをはじめとして公室では、座るとテーブルまたは椅子のQRコードと、乗船カードを常にクルーズが入力してくれ、万一、コロナ感染者が出たときには濃厚接触者が自動的にわかるシステムになっています。

た。



Eカフェ&ライブラリー




7階のホライズンラウンジは、筆者のお気に入りのパブリックスペースで、今回の改造により、バーカウンターが設置されて、夜間には、夜景を眺めながら飲むことができるようになりました。



この日の夕食はクリスマスディナーで、レストランの前には大きなケーキが飾られていました。



クリスマスディナーの料理をオードブルから並べてみると・・・。


 2020
 Menu

Hors d'oeuvre

クリスマス・ツリー・アソート

・本館のカトレット ・ターキーのタルタル ・真鯛のカルパッチョ
 ・サーモンのスコットアート〜スモークの香り〜
 ポテトのアイオリ風ソース スズキニのビュレ
 玉子とケイパーのクネル 月山雪結晶パスタ
 いくら ベコロス チェリー・モッツアレラ・チーズ 豆乳とライムの泡

Second

ベリーのコースとフォアグラのムース
 リースに見立てた野菜のサラダ仕立て
 花野菜のピクルス デトロイト 赤パプリカとシェリー・ビネガーのドレッシング

Fish

和風ブイヤベース

オマール海老 スズキ 帆立貝柱 ムール貝 イカ すっぽん
 松茸 エリンギ 白しめじ 白舞茸 セルパチコ

Granité

抹茶のグラニテ

レッド・カラント

Bread

にっぽん丸特製白パン / ペルナリンブ
 ※ペルナリンブ(Peruna Limppu)は、じゃがいもとライ麦を使用したフィンランドのパンです。

Meat

ビーフ・テンダーロインのステーキ
 プッシュ・ド・ノエル・スタイル 赤ワイン・ソース

Dessert

フレーズ・ショコラのサンタクロースとピスタチオのアイスクリーム
 フルーツ クレーム・シヤンティエー

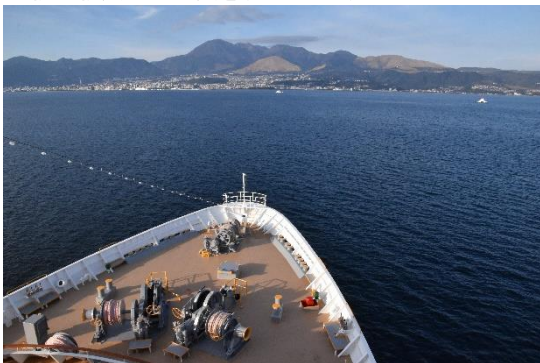
仕入れ状況によりメニューが変更となる場合がございます。



ドルフィンホールは、ソーシャルディスタンスがとれる座席配置になっており、同室の人とだけ隣り合わせに座れます。



翌朝の朝食には和食を頂きました。



別府の山並みが近づいてきました。



別府港への着岸には2隻のタグボートが支援しました。



別府港内には「さんふらわあいぼり」と、宇和島運輸の「あかつき丸」が停泊していました。



別府港のクルーズ客船施設です。



停泊中の「にっぽん丸」です。



別府停泊中の船上での昼食です。



フェリーさんふらわあのターミナル内にある「さんふらわあ歴史館」には、関西汽船の歴代船の模型や懐かしい写真が飾られ、別府航路の歴史年表が掲示されています。



宇和島運輸の「えひめ」の入港シーンが撮影できました。



「あかつき」の入港は、「にっぽん丸」の船上から撮影しました。



この日の夕食は「あるぜんちな丸」のディナーの再現とのことでした。



ドルフィンホールでのショーは、専属バンドの歌と演奏でした。日本船はショーでのビデオだけでなく、写真撮影も禁止なので、ショーの様子はお伝え出来ませんが。



22時半から、レストラン瑞穂で夜食が提供されていました。



3日目は瀬戸内海の終日航海でした。7時過ぎに中島の沖合で朝日が顔をだしました。



来島海峡の入口にさしかかる手前で、「にっぽん丸」は左に針路を変えて、三原瀬戸に向けて北上しました。



瀬戸内の軍艦島との異名をもつ契島(ちぎりしま)を洋上から見学しました。



竹原港と契島を結ぶ旅客船「けいよう」です。



フェリー「第七さんよう」とも出会いました。



今治造船の広島工場ではエバーグリーンの超大型コンテナ船が3隻艀装中でした。



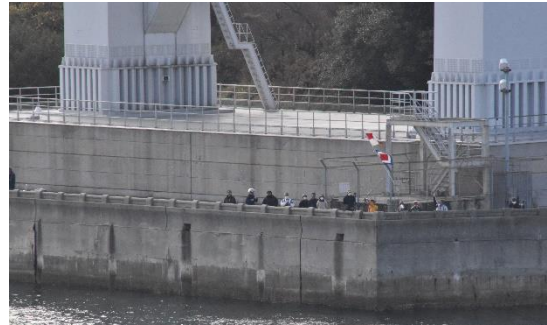
ツインアイランダー型のコンテナ船「Ever Fair」です。



瀬戸田から尾道に向かう高速観光船「シースピーカ」の姿もありました。



尾道水道の手前で、右に転舵して「にっぽん丸」は、因島と向島を結ぶ向島大橋に針路をとりました。



橋のもとに「航海安全祈念」の旗を掲げて出迎えてくれた一団がいました。



「にっぽん丸」も旗を掲げて、汽笛を鳴らして通過しました。



今治造船の多度津工場には川崎汽船の LNG 炊き PCTC が艀装中。また、エバーグリーンの大型コンテナ船も多度津と丸亀で艀装中なのがかすかに見えました。



最後の夕食は、和食でした。



NIPPON MARU 神戸発着 年忘れ につぼん丸クルーズ 2020 年12月25日～12月28日

夕食時に、参加者12名が1枚の写真に納まりました。



「につぼん丸」は、播磨灘をゆっくりと航行し、朝の6時半に明石海峡を通過して、神戸に向かいました。途中で名門大洋フェリーの「フェリーきたきゆうしゅうⅡ」が追い抜いていきました。



9時少し前に神戸港に到着。3泊4日のクルーズを終えました。



ポートターミナルに着岸中の「につぼん丸」です。